

綿 スフ 織物情報

2022年(令和4年) 4月号 Vol. 1873

発行所: 一般財団法人 日本綿スフ機業同交会
東京都港区西麻布 1-8-7 綿工連会館 2F
TEL(03)3403-9671 FAX(03)3403-9679
URL: <https://www.jcwa.jp>

主 な 内 容

「第9回綿織物産地素材展」開催／「コダワリヌノ2022」開催／「T・N JAPAN 東京展23春夏」「JFW-Premium Textile Japan 2023S/S」出展予定／価格改定へご理解・ご協力のお願い／織布運転の技能実習3号移行申請(3年→5年)について／中小企業活性化パッケージ策定／セーフティネット保証5号対象業種に継続指定／「省エネ補助金」公募中／「小規模事業者持続化補助金」公募中／綿工連大阪事務所の閉鎖について／綿工連産地・企業の新聞記事一覧(2022年3月)／特許公開情報

●「第9回綿織物産地素材展」開催

綿工連は、「Cotton Fabric Made in Japan」をバイヤー、クリエイターに直接商談する「第9回綿織物産地素材展」を3月17日(木)、18日(金)の2日間、東京都港区西麻布の綿工連会館1階で開催した。昨年3月にこれまでの渋谷から西麻布に会場を変更、2年ぶりの開催を果たし、今回も同会場が確保できたことから、感染者数の減少を想定して計画を進めてきた。

出展者は、知多の東洋織布・新美、高島の杉岡織布と高麻、大阪南部の辰巳織布と和紙の布、岡山のショーワの7社。知多の新美と高島の杉岡織布は初出展。

18都道府県にまん延防止重点措置発令中であったが、両日とも活発な商談が行われた。

●「コダワリヌノ2022」開催

3月2日(火)～4日(金)、東京港区のふくい南青山291で、「コダワリヌノ2022」が開催された。1府8県の9社の合同展示会で、綿工連産地から天龍社産地のカネタ織物が出展した。

●「T・N JAPAN東京展23春夏」「JFW-Premium Textile Japan 2023S/S」出展予定

「T・N JAPAN東京展23春夏」は、4月19日(火)～20日(水)に東京中目黒で開催される。綿工連産地から遠州の杉浦テキスタイルと辻村染織(HCN浜松コットンネットワーク)、



福田織物(天龍社)、遠孫織布(播州)が出展する。

「JFW-Premium Textile Japan 2023S/S」は、5月25日(水)～26日(木)に東京国際フォーラムで開催、綿工連産地から古橋織布(遠州)とカイハラ(広島)が出展する。

●価格改定へご理解・ご協力のお願い

綿工連は、昨今の原油高をはじめとする様々な原材料費の高騰により厳しい状況のなか、価格改定について傘下企業が交渉する際に活用できる綿工連会長からの依頼文を作成した。関係各位には、なお一層のご理解・ご協力をお願いしたい。

2022年 3月 7日

関係各位

私共、日本綿スフ織物工業連合会(綿工連)の傘下の工場は、最盛期2万社を超えていましたが、現在500社まで激減しており、2020年からの新型コロナウイルス感染拡大の影響により、厳しい状況の中、さらに今回、下記のような様々な要因により、危機的状況となっています。

- ①綿花が2倍になり綿糸や様々な糸価格が上昇。
- ②ポリアル価格の暴騰によりサイジング価格の上昇。
- ③原油価格の暴騰により、電気料金や重油価格の上昇。
- ④各運賃の上昇。
- ⑤その他資材価格の上昇。
- ⑥かねてからの人手不足により人件費の上昇。

これらの要因により、企業努力で吸収できる範囲を超えて、工場存続の危機となってきています。

そこで、今後、傘下の工場からお取引先に、

1. 純工賃で15%以上。
2. 糸代込みの生地価格なら30%以上。

につきまして、お願いすることがあろうかと思っておりますので、何卒、ご理解・ご協力のほどお願い致します。

今後も、綿・スフ織物を国内で安定供給するため、また、サプライチェーンが安定して継続するためにも、関係各位の皆様のご協力のほどお願い致します。

日本綿スフ織物工業連合会
会長 平松 誠 治



●織布運転の技能実習第3号移行申請(3年→5年)について

3月17日、厚労省で外国人技能実習制度における紡績運転職種、及び織布運転職種の3号整備に係る審査基準等の変更(3年から5年が可能)が行われた。これにより、織布運転の準備工程作業、製織工程作業、仕上工程作業において第3号技能実習が追加されることとなり、在留期間が5年まで延長され、高度な技能の修得を目指せる第3号に移行できることとなった。

○技能実習制度 移行対象織布・作業一覧

<https://www.mhlw.go.jp/content/000914169.pdf>



○織布運転の審査基準(第3号が追加)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jnzaikaihatsu/global_cooperation/002.html



●中小企業活性化パッケージ策定

3月4日、経済産業省はコロナ資金繰り支援の継続や増大する債務に苦しむ中小企業の収益力改善・事業再生・再チャレンジを促す総合的な支援策を展開するため、金融庁・財務省とも連携のうえ、「中小企業活性化パッケージ」を策定した。2021年度末の資金需要への対応、2022年度以降の資金需要への対応など、今後は本パッケージに基づき、中小企業の活性化に向けた施策を展開してゆく。

中小企業活性化パッケージ ～コロナ資金繰り支援の継続と収益力改善・事業再生・再チャレンジの促進～		2022年3月4日 経済産業省 金融庁 財務省
<ul style="list-style-type: none"> ● 日本の企業数の99.7%、雇用の7割を占める中小企業は成長と分配の好循環のエンジン。 ● 足下では、事業復活支援金や資金繰り支援等を通じて中小企業の事業継続を強力に支援するとともに、官民金融機関が条件変更等の柔軟な対応を実施^(*)。(*) 政府としても累次にわたり要請しており、条件変更の応諾率は約99%(21年12月末) ● こうした中、年度末の資金繰り支援の徹底を官民金融機関に要請するとともに、感染状況等を踏まえ、融資期間の延長をした上で実質無利子・無担保融資、危機対応融資を6月末まで継続。さらに、日本公庫の資本性劣後ローンも来年度末まで継続。 ● 併せて、債務に苦しむ状態が長く続けば、十分な人材投資、設備投資が困難となり、成長と分配の好循環が停滞するおそれ。このため、増大する債務に苦しむ中小企業の収益力改善・事業再生・再チャレンジを促す総合的な支援策を展開する。 		

I. コロナ資金繰り支援の継続	
<p style="text-align: center;">年度末の資金需要への対応</p> <p>①年度末の事業者の資金繰り支援等のための金融機関との意見交換・要請 → 年度末の資金繰り支援等の徹底について、内閣府特命担当大臣(金融)及び経済産業大臣より金融機関に要請。</p> <p>②セーフティネット保証4号の期限延長 → 一般枠(上限2.8億円、80%保証)に上乗せした別枠保証(上限2.8億円、100%保証)の期限を延長【3月1日まで→6月1日まで】</p>	<p style="text-align: center;">来年度以降の資金需要への対応</p> <p>①実質無利子・無担保融資、危機対応融資の継続等 → 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて業況が悪化している事業者に対する実質無利子・無担保融資、危機対応融資^(*)の期限を延長【今年度末→6月末まで】 (*) 商工中金と日本政策投資銀行による融資・資本性劣後ローン → 返済負担を軽減するための融資期間の延長【運転資金15年→20年】</p> <p>②日本政策金融公庫の資本性劣後ローンの継続 → 民間金融機関が自己資本とみなすことができる日本政策金融公庫の資本性劣後ローン(最大20万円未満、上限額10倍)を継続【来年度末まで】</p> <p>③納税や社会保険料支払いの猶予制度の積極活用・柔軟な運用 → 納税緩和制度に基づく猶予及び社会保険料の支払猶予制度(延滞税や延滞金を0.9%に軽減)の柔軟な運用(原則担保不要、口頭での事情説明も可など)を継続</p>

中小企業活性化パッケージ
～コロナ資金繰り支援の継続と収益力改善・事業再生・再チャレンジの促進～

2022年3月4日
経済産業省
金融庁
財務省

Ⅱ. 中小企業の収益力改善・事業再生・再チャレンジの総合的支援

収益力改善フェーズ	事業再生フェーズ	再チャレンジフェーズ
<p>① 認定支援機関による伴走支援の強化</p> <p>→ 収益力改善に向けた計画策定に加え、認定支援機関による計画実行状況のフォローアップや助言等を強化【22年4月～】</p> <p>② 協議会による収益力改善支援の強化</p> <p>→ ポストコロナを見据え、中小企業再生支援協議会において、コロナ禍で緊急的に実施している特例リスケ支援を収益力改善支援にシフト【22年4月～】</p>	<p>① 中小機構が最大8割出資する再生ファンドの拡充</p> <p>→ コロナの影響が大きい業種（宿泊、飲食等）を重点支援するファンドの組成、ファンド空白地域の解消を促進【順次】</p> <p>② 事業再構築補助金に「回復・再生応援枠」を創設</p> <p>→ 再生事業者が優先採択される枠を創設し、収益力の向上を促進【22年春頃～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助率：3/4（中堅2/3） ・ 補助上限額：従業員規模により500万～1500万円 <p>③ 中小企業の事業再生等のガイドラインの策定（経営者退任原則、債務超過解消年数要件等を緩和）</p> <p>→ 数百人規模の民間専門家（弁護士等）を活用し支援</p> <p>→ ガイドラインに基づく計画策定費用の支援制度を創設【22年4月～】</p>	<p>① 経営者の個人破産回避のルール明確化</p> <p>→ 個人破産回避に向け、「経営者保証ガイドライン」に基づく保証債務整理の申出を受けた場合には、金融機関が誠実に対応する、との考え方を明確化【21年度中】</p> <p>② 再チャレンジに向けた支援の強化</p> <p>→ 経営者の再チャレンジに向け、中小機構の人材支援事業を廃業後の経営者まで拡大【22年4月～】</p> <p>→ 中小機構において、廃業後の再チャレンジに向けた専門家支援を展開【順次】</p> <p>→ 公庫の再チャレンジ支援融資を拡充【22年2月～】</p>
<p>収益力改善・事業再生・再チャレンジを一元的に支援する体制の構築</p> <p>→ 全国47都道府県にある中小企業再生支援協議会を関連機関と統合し、収益力改善・事業再生・再チャレンジを一元的に支援する「中小企業活性化協議会」を設置。</p> <p>→ 中小企業活性化協議会がハブとなって金融機関、民間専門家、各種支援機関とも連携し、苦しむ中小企業の収益力改善・事業再生・再チャレンジを地域全体で推進。</p>		

● **セーフティネット保証5号対象業種に継続指定**

3月11日、経済産業省は業況の悪化している業種に属する事業を行う中小企業者を対象とするセーフティネット保証5号について、2022年4月1日～6月30日分の対象業種に「綿・スフ織物業」を継続指定した。

● **「省エネ補助金」公募中**

3月3日、令和3年度補正予算による「省エネルギー投資促進支援事業費補助金」の公募が開始された。2050年のカーボンニュートラル実現に向けて更なる省エネ設備投資の推進が求められるなか、足元では世界的にエネルギー価格が高騰しており、エネルギー消費機器の効率化による燃料・電力の消費抑制を図ることが喫緊の課題となっている。

本事業は緊急的な支援として、産業・業務部門における性能の優れた省エネ設備への更新事業に要する経費の一部を補助することで、需要側における燃料・電力の消費抑制に資する取組を促し、エネルギーコストの削減を目指すことを目的とする。対象となるユーティリティ設備は高効率空調、変圧器、高性能ボイラーなど。

○ 公募期間： 2022年3月3日（木）～4月5日（火）

○ 交付決定： 2022年5月下旬予定



○事業期間: 交付決定日から2023年1月31日(火)

○公募情報URL: <https://sii.or.jp/cutback03r/overview.html>



●「小規模事業者持続化補助金」公募中

3月22日、令和元年度・令和3年度補正予算「小規模事業者持続化補助金〈一般型〉」の第8回公募を開始した。小規模事業者が直面する制度変更(働き方改革や被用者保険の適用拡大等)に対応するため、自ら作成した経営計画に基づく販路開拓等の取組を支援するもの。なお、今後の公募予定は次の通り。第9回2022年9月中旬、第10回2022年12月上旬、第11回2023年2月下旬。

○公募期間: 2022年3月29日(火)～6月3日(金)

○商工会の管轄地域 https://www.shokokai.or.jp/jizokuka_r1h/



○商工会議所の管轄地域 <https://r3.jizokukahojokin.info/>



※新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者への支援パンフレット(随時更新)

<https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/pamphlet.pdf>



※業種別支援策リーフレット(製造業向けは 3/18～4/18ページ)

<https://www.meti.go.jp/covid-19/leaflet/leaflet.pdf>



●綿工連大阪事務所の閉鎖について

綿工連大阪事務所は、連合会発足以来、綿織物産地の拠点として活動してきたが、諸般の事情により、3月末をもって閉鎖した。今後の業務は引き続き東京事務所において継続する。

●綿工連産地・企業の新聞記事一覧(2022年3月)

繊維ニュース

- 3月 1日 綿工連 3月17、18日に綿織物産地素材展
- 3月 1日 コダワリノヌノ展 1府8県9社の展示会 カネタ織物が出展(天龍社)
- 3月 1日 「カイハラ」環境配慮型染色の提案加速/東京オフィス移転(広島)
- 3月 2日 JAFIC【J∞クオリティー】工場発で中国市場へ挑戦「中国紡織」が参加(広島)
- 3月 3日 「中国紡織」刺し子デニムをアピール J∞クオリティーのPJで(広島)
- 3月 4日 「カイハラ」のデニム生地パンツ ワークマン 10万着限定(広島)
- 3月 9日 「新美」知多木綿の白い布展開く 阿久比町のギャラリーで

- 3月 9日 『特集 播州織産地』 今こそ商機、変革の好機
＜播州織総合素材展＞サステのアピールに力 ＜播州織コレクション＞スーパーノヴァと初コラボ
- 3月11日 遠州織物コレクション2022 個性の訴求で新規顧客を 質感や風合いが特徴の生地
- 3月17日 『往来』「篠原テキスタイル」篠原由起新規事業開発リーダー 福山デニム発信の動き活発に(広島)
- 3月18日 「セイショク」 布積層板が時計ストラップに 出荷規格外の布を活用(岡山)
- 3月18日 【Jクオリティーファクトリーブランドプロジェクト】 上海で初開催 中国紡織が参加(広島)
- 3月24日 T・N JAPAN 4月に23春夏展開催 福田織物(天龍社)、浜松CN、遠孫織布(播州)出展
- 3月28日 《ジーンズ別冊》 潮目が変わるジーンズ業界
- ・デニム製造・デニム製造卸 潮目がこれから大きく変わる
テキスタイル 輸出回復で19年に戻る／サステ切り札に攻勢へ
 - ・有力デニム・ジーンズメーカーのトップに聞く アフターコロナで変わる市場への一手は？
「カイハラ」 貝原淳之専務 ライフスタイルへの提案は最重要課題(広島)
「タカヤ商事」 落合 豊社長 成長に向け新境地へ(備中)
 - ・座談会 三備産地 繊維企業×サッカークラブ座談会
スポーツから発信する福山デニム 「篠原テキスタイル」篠原由起氏出席(広島)
- 3月28日 『往来』「ショーワ」片山真一郎社長 厳しい環境下社員の労働意識維持向上が重要(岡山)
- 3月29日 綿工連 綿織物産地の素材展開催 個性の提案で顧客引き付け
- 3月31日 「タカヤ商事」レディースカジュアル 消費マインドの変化期待 RNAなどで夏企画提案(備中)

織 研 新 聞

- 3月 4日 西脇市がデザイナー支援セミナー スズキタカユキと玉木新雌が対談(播州)
- 3月 7日 5ポケットデニムパンツ カイハラ製を販売 ワークマン(広島)
- 3月 9日 「玉木新雌」産地の雑貨と食品集積した新店 魅力発信、作り手の刺激にも(播州)
- 3月10日 繊維産地継承プロジェクト委員会 福山でデニムツアー開始へ(広島)
- 3月15日 綿織物産地素材展 3月17日(木)、18日(金)開催
- 3月17日 JAFIC【Jクオリティー】上海で初の海外展 中国セレクトに商品アピール 中国紡織が参加(広島)
- 3月18日 福山市 デニム商品コンテスト デザイン画公開 製品化狙う(広島)

信 用 情 報

- 3月24日 綿工連 第9回綿織物産地素材展開催 地産地消のサステナブル素材を披露



●特許公開情報

2022年3月に公開された織物の製造方法に関する、特許公開情報です。

特許電子図書館 HP: <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

検索範囲: 4L048, D03D1/00~D03D27/00

[特許公開情報]

(2022年3月公開分)

<3月分>

項番	文献番号	出願人	発明の名称
1	特開 2022-034226	帝人フロンティア(株)	布帛およびその製造方法および繊維製品
2	特開 2022-040590	東レ(株)	織編物
3	特開 2022-040767	(株)クラレ	補強繊維及びその製造方法、並びにそれを用いた成形体
4	特開 2022-041780	金井重要工業(株) キクロン(株)	洗浄部材及び洗浄用スポンジ
5	特開 2022-045049	帝人(株)	布帛および防護製品
6	特開 2022-045950	クラレトレーディング(株)	異収縮混織糸及びこれを用いてなる布帛
7	特開 2022-048630	帝人(株)	耐熱性防護服
8	特開 2022-049931	日本ケイカル(株) (株)セラフト	機能性成分含浸ゾノトライト中空体
9	特許 7029033	旭化成(株)	ガラスクロス、プリプレグ、及びプリント基板
10	特許 7030931	ソンウォルピナジェイエス シー(ベトナム)	ピンタック織物及びその製造方法

3月の行事

- 3月 4日…………… 同交会理事会(名古屋・ウインクあいち)
- 3月 5日…………… 綿工連綿's倶楽部全国交流会(横浜)《中止》
- 3月17~18日 …… 第9回綿織物産地素材展(綿工連会館1階)
- 3月31日…………… 大阪事務所閉所

4月以降の行事

- 4月26日…………… 綿スフ工連/綿工連/同交会監事会(綿工連会館)
- 5月14日…………… 綿工連綿's倶楽部委員会(大阪・綿業会館)
- 5月24日…………… 綿スフ工連/綿工連通常総会、同交会理事会・評議員会(名古屋)
- 5月25~26日 …… JFW-Premium Textile Japan 2023S/S(東京国際フォーラム)

いいものはきもちいい。
——こだわりの品質、ジャパン・コットン。

JAPAN
COTTON



Pure Cotton



綿100%
「ピュア・コットン・マーク」

JAPAN
COTTON



Pure Cotton

綿混率50%以上
「コットン・ブレンド・マーク」

JAPAN
COTTON



Cotton Blend

ジャパン・コットン・マーク。日本国内で製造した高品質の綿素材を使用した製品だけに、その優れた品質を保証して添付されます。

日本で生まれて日本に育った私たちは、日本人だけに分かる心地よさを知っています。たとえば、春の日溜まりのぬくもり、夏の打ち水の涼しさ、障子からもれる明かり、鈴虫の音色。日本人だからこそ分かる本当の快適さを、しっかりと保証するための印を作りました。